

501P07430500

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC872 U.S. PTO
09/854287



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 5月16日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-143215

願 人

Applicant (s):

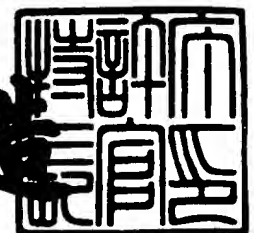
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月23日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 0000240303

【提出日】 平成12年 5月16日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 12/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 白浜 旭

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 宮崎 慎一郎

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 平川 正剛

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100082131

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲本 義雄

【電話番号】 03-3369-6479

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 032089

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708842

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像処理装置および画像処理方法、並びに記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定のプログラムの画像データを受信して処理する画像処理装置において、

ユーザが選択するプログラムの画像データを抽出する抽出手段と、

前記抽出手段により抽出した前記プログラムに関連する関連情報を取得する取得手段と、

前記関連情報に応じて、前記プログラムの画像の表示を制御する制御パラメータを設定する設定手段と

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】 前記抽出手段は、前記プログラムの画像データをトランスポートストリームから抽出し、

前記取得手段は、前記関連情報を、前記トランスポートストリームに含まれるサービスインフォメーションから取得する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】 前記制御パラメータを記憶する記憶手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】 前記制御パラメータを、ユーザからの入力により変更する変更手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】 所定のプログラムの画像データを受信して処理する画像処理装置の画像処理方法において、

ユーザが選択するプログラムの画像データを抽出する抽出ステップと、

前記抽出ステップの処理により抽出した前記プログラムに関連する関連情報を取得する取得ステップと、

前記関連情報に応じて、前記プログラムの画像の表示を制御する制御パラメータを設定する設定ステップと

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 6】 所定のプログラムの画像データを受信して処理する画像処理装置のプログラムにおいて、

ユーザが選択するプログラムの画像データを抽出する抽出ステップと、

前記抽出ステップの処理により抽出した前記プログラムに関連する関連情報を取得する取得ステップと、

前記関連情報に応じて、前記プログラムの画像の表示を制御する制御パラメータを設定する設定ステップと

を含むことを特徴とするコンピュータが読みとり可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像処理装置、画像処理方法および記録媒体に関し、特に、画質の表示設定を自動的に変更することにより、受信したテレビジョン放送の番組を、常に最適な画質で表示させることができるようにした画像処理装置、画像処理方法および記録媒体に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、デジタル放送が本格的に開始されている。デジタル放送においては、映像、音声などのデータがMPEG (Moving Picture Experts Group) 方式などにより圧縮され、放送される。

【 0 0 0 3 】

例えば、デジタルテレビジョン放送においては、データが圧縮されるため、アナログテレビジョン放送に比べて、約十倍ものコンテンツ（番組）を放送することが可能である。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、従来のテレビジョン受像機においては、様々な画質を設定する機能が付加されており、ユーザの好みに応じて、画質を調節することが可能となつて

いる。デジタルテレビジョン放送の発達により、通常の動画像の他、静止画像、文字図形などの多くの種類のコンテンツが放送されるようになると、より多彩で、微妙な画質調整が求められる。

【 0 0 0 5 】

しかしながら、従来のテレビジョン受像機における画質の設定は、ユーザが表示されている映像を肉眼で確認しながら手動操作により行うため、微妙な設定が困難となり、ユーザは、結局、番組毎に画質を調整するといったことはせず、どのような番組であっても、同一の画質で見ることが多かった。その結果、テレビジョン受像機が有する高度な機能を十分に発揮させることができない課題があった。

【 0 0 0 6 】

本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、番組に応じて自動的に画面表示の設定を変えることにより、ユーザが、常に最適な画質で番組を視聴することができるようにするものである。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

本発明の画像処理装置は、ユーザが選択するプログラムの画像データを抽出する抽出手段と、抽出手段により抽出したプログラムに関連する関連情報を取得する取得手段と、関連情報に応じて、プログラムの画像の表示を制御する制御パラメータを設定する設定手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 0 8 】

本発明の画像処理装置には、プログラムの画像データを、トランスポートストリームから抽出する抽出手段と、プログラムに関連する関連情報を、トランスポートストリームに含まれるサービスインフォメーションから取得する取得手段とをさらに備えるようにすることができる。

【 0 0 0 9 】

本発明の画像処理装置には、制御パラメータを記憶する記憶手段をさらに備えるようにすることができる。

【 0 0 1 0 】

本発明の画像処理装置には、制御パラメータを、ユーザからの入力により変更する変更手段をさらに備えるようにすることができる。

【 0 0 1 1 】

本発明の画像処理装置の画像処理方法は、ユーザが選択するプログラムの画像データを抽出する抽出ステップと、抽出ステップの処理により抽出したプログラムに関連する関連情報を取得する取得ステップと、関連情報に応じて、プログラムの画像の表示を制御する制御パラメータを設定する設定ステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

本発明の記録媒体のプログラムは、ユーザが選択するプログラムの画像データを抽出する抽出ステップと、抽出ステップの処理により抽出したプログラムに関連する関連情報を取得する取得ステップと、関連情報に応じて、プログラムの画像の表示を制御する制御パラメータを設定する設定ステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

本発明の画像処理装置および画像処理方法、並びに記録媒体においては、ユーザが選択するプログラムに関連する関連情報に応じて、プログラムの画像の表示を制御する制御パラメータが設定される。

【 0 0 1 4 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、図示せぬ放送局から送られてくるデジタル放送を受信して、映像や音声を表示（出力）させるテレビジョン受像機 3 0 の構成例を示している。

【 0 0 1 5 】

アンテナ 1 1 は、デジタル放送波を受信し、その受信信号を IF (Intermediate Frequency) 信号として、IF 復調器 1 2 に出力する。IF 復調器 1 2 は、IF 信号を復調し、トランスポートストリームとしてデマルチプレクサ 1 3 に出力する。

【 0 0 1 6 】

伝送路 1 4 は、CATV システム、ネットワークシステム等から供給されたトランスポートストリームや、図示せぬハードディスクなどの記憶部から供給されたト

ランスポートストリームの伝送路であり、このランスポートストリームもデマルチプレクサ 1 3 に供給される。

【 0 0 1 7 】

デマルチプレクサ 1 3 は、アンテナ 1 1 または伝送路 1 4 を介して供給されたランスポートストリームを構成するランスポートストリームパケット（以下、適宜、TSパケットと称する）から、PAT(Program Association Table)、PMT(Program Map Table)、ランスポートストリームのスクランブルをデスクランブルするためのスクランブルキー、その他の制御のために用いられるデータを含むTSパケット、ビデオ（映像）データを含むTSパケット、およびオーディオデータを含むTSパケットを分離し、CPU 1、ビデオデコーダ 1 5、またはオーディオデコーダ 1 8 にそれぞれ出力する。

【 0 0 1 8 】

ビデオデータは、ビデオデコーダ 1 5 において、MPEG方式で輝度（Y）、色差（Cr, Cb）信号に復号され、映像信号処理装置 1 6 に出力される。映像信号処理装置 1 6 は、輝度信号と色差信号からRGB信号を生成し、CRT, LCDなどを含む映像表示部 1 7 に出力する。本発明においては、映像信号処理装置 1 6 において行われる信号処理や映像表示部 1 7 における表示に対して、CPU 1 が取得した制御パラメータに応じて制御が施されるが、その詳細については後述する。

【 0 0 1 9 】

音声データは、オーディオデコーダ 1 8 によりデコードされ、音声信号処理装置 1 9 に供給され、増幅などの信号処理が行われた後、スピーカなどを含む音声出力部 2 0 に出力される。

【 0 0 2 0 】

なお、データパケットには、PSI (Program Specific Information) やSI (Service Information) のデータが保持されている。PSIはMPEGで規定されている番組（プログラム）の仕様情報を意味し、図 3 を参照して後述するように、PAT, PMT, NIT (Network Information Table), CAT (Conditional Access Table) の 4 つのテーブルと、各種のディスクプリタで構成される。SIは、放送事業者が独自に使用する情報である。EPG (Electronic Program Guide) は、PSIとSIで構成さ

れる。

【 0 0 2 1 】

CPU 1 は、データパケットを受け取ると、その内容をメモリ 2 に供給し、記憶させる。入力インタフェース 3 は、ユーザの操作に対応する信号を CPU 1 に出力する。CPU 1 は、ユーザからの入力に対応してデマルチプレクサ 1 3 を制御し、所定のチャンネルを選択させる。

【 0 0 2 2 】

ドライブ 2 1 には、磁気ディスク 2 2、光ディスク 2 3、光磁気ディスク 2 4、または、半導体メモリ 2 5 が接続され、データを記録または再生する。

【 0 0 2 3 】

以下、図 2 のフローチャートを参照して、ユーザが所望の番組を選択した場合の、デマルチプレクサ 1 3 の受信動作について説明する。

【 0 0 2 4 】

ユーザが入力インタフェース 3 を操作することにより所望の番組のチャンネル（放送チャンネル）を選択したとき、CPU 1 は、その番組の放送チャンネルの受信をデマルチプレクサ 1 3 に指令する。この指令に対応してステップ S 1 において、デマルチプレクサ 1 3 は、アンテナ 1 1 を介して受信中のトランスポートストリームから、トランスポンダ（衛星中継器）の PAT を保持している TS パケット（PID (Packet Identification) = 0 の TS パケット）を読み込む。図 3 に示されるように、PAT には、受信されている伝送チャンネル（トランスポンダに対応する）のトランスポートストリームに含まれるすべての番組（放送チャンネル）の PMT が記述されている。そして、各番組の PMT には、その番組を構成するビデオデータを含むパケットの PID と、オーディオデータを含むパケットの PID が記述されている。

【 0 0 2 5 】

図 3 の例において、伝送チャンネル B に、番組（放送チャンネル） P_{B1} 、 P_{B2} 、 P_{B3} が含まれており、その PAT 5 2 に、各番組の PMT が記述されている。さらに、番組 P_{B1} の PMT 5 3 には、番組 P_{B1} を構成するビデオデータを含むパケットの PID である PID_V と、オーディオデータを含むパケットの PID である PID_A が記述されている。

【0026】

ステップS2において、デマルチプレクサ13は、読み込んだPAT内で、ユーザにより選択された番組のチャンネルに対応するPMTを検索する。

【0027】

ステップS3において、デマルチプレクサ13は、ユーザにより選択された番組のチャンネルに対応するPMTが、PAT内に存在するか否か（検索の結果）を判定する。

【0028】

現在受信されているトランスポートストリームの中に、ユーザが選択したチャンネルの番組のデータが配置されていないため、ステップS3において、ユーザにより指定されたチャンネルのPMTがPAT内に存在しないと判定された場合、ステップS4に進む。

【0029】

ステップS4において、デマルチプレクサ13により、トランスポンダ（受信する伝送チャンネル）を変更する処理が行われる。

【0030】

すなわち、PATには、NITのPIDが記述されており、NITには、ネットワークを構成している全てのトランスポンダ（伝送チャンネル）の周波数、衛星の軌道位置、変調方式などの送信情報や、それぞれの伝送チャンネルごとの番組の放送チャンネルの情報が記述されている。

【0031】

図3の例においては、NIT51に、伝送チャンネルA, B, Cが記述され、伝送チャンネルAのトランスポートストリームは、番組 P_{A1} , P_{A2} , P_{A3} の番組データを保持し、伝送チャンネルBのトランスポートストリームは、番組番号 P_{B1} , P_{B2} , P_{B3} の番組データを保持しているものとされている。

【0032】

デマルチプレクサ13は、PATにおいて指定されたPIDに基づいてNITを読み込んだ後、NITに含まれるサービスIDについて検索を行う。通常、サービスIDは、

ユーザが入力した番組のチャンネル番号に一致する。

【 0 0 3 3 】

デマルチプレクサ 1 3 は、ユーザが入力した番組のチャンネル番号と同一のサービスIDに対応するサービス（番組）のデータを伝送しているトランスポンダ（伝送チャンネル）の周波数を認識し、受信周波数を変更することにより、受信するトランスポンダ（伝送チャンネル）の変更が達成される。

【 0 0 3 4 】

その結果、その後のステップS1乃至S3の処理で、ユーザにより指定された放送チャンネルのPMTがPAT内で検索され、処理はステップS5に進む。

【 0 0 3 5 】

ステップS5において、デマルチプレクサ 1 3 は、受信しているトランスポートストリームから、ユーザが選択した番組のチャンネルのPMTデータを読み込む。

【 0 0 3 6 】

次に、ステップS6において、デマルチプレクサ 1 3 は、番組を構成するビデオとオーディオの各エレメンタリのデータを保持しているTSパケットのPIDを、ステップS5において読み込んだPMTから取得する。さらに、ステップS7において、デマルチプレクサ 1 3 は、取得したPIDに基づいて、ユーザにより指定されたチャンネルのビデオパケットとオーディオパケットを分離し、ビデオデコーダ 1 5 とオーディオデコーダ 1 8 にそれぞれ出力する。

【 0 0 3 7 】

ビデオデコーダ 1 5 は入力されたビデオパケットをデコードする。映像信号処理装置 1 6 は、ビデオデコーダ 1 5 によりデコードされたビデオデータから、RGBの映像信号を生成し、映像表示部 1 7 に出力し、表示させる。

【 0 0 3 8 】

オーディオデコーダ 1 8 は入力されたオーディオパケットをデコードする。音声信号処理装置 1 9 は、オーディオデコーダ 1 8 によりデコードされたデータを処理し、音声出力部 2 0 から出力させる。

【 0 0 3 9 】

一方、CPU 1 は、映像信号処理装置 1 6 における信号処理、および映像表示部 1 7 の画像の表示状態を、その番組の関連情報（PSI と SI により構成される）に基づいてメモリ 2 に記憶された制御パラメータを用いて制御する。次に、図 4 のフローチャートを参照して、この表示制御について説明する。

【 0 0 4 0 】

ステップ S 2 1 において、CPU 1 は、受信中の番組のジャンルを、PSI または SI から読み取り、そのジャンルに対応する制御パラメータがメモリ 2 に登録されているか否かを判定する。

【 0 0 4 1 】

すなわち、メモリ 2 には、番組のジャンルに対応させて、映像信号処理装置 1 6 や映像表示部 1 7 における信号処理を制御する制御パラメータが、予め登録されている。図 5 (A) , (B) は、その例を表している。

【 0 0 4 2 】

図 5 (A) は、番組のジャンルが映画である番組の制御パラメータの例を表し、次のように設定されている。

ブライトネスを低くする。

シャープネスを弱める。

色温度を低くする。

NR (Noise Reduction) を切る。

VM (Velocity Moduration (ビーム速度変調)) を切る。

ガンマ補正を強める。

CPU 1 は、これらの制御パラメータに基づいて、映像信号処理装置 1 6 や映像表示部 1 7 における信号処理を制御することにより、暗い部分の微妙な階調、輪郭、色のすべてを柔らかなタッチで表示させることができ、また、オリジナルのフィルム質感を表示させることが可能となる。

【 0 0 4 3 】

図 5 (B) は、ユーザによって選択された番組のジャンルがスポーツ（サッカー）である番組の制御パラメータの例を表し、次のように設定されている。

コントラストを下げる。

シャープネスを強める。

色温度を高める。

VMを強める。

操作方法を順次走査にする。

CPU 1 は、これらの制御パラメータに基づいて、映像信号処理装置 1 6 や映像表示部 1 7 における信号処理を制御することにより、激しい選手の動きや、激しいカメラワークに対応して表示させることが可能となる。

【 0 0 4 4 】

ステップ S 2 2 において、CPU 1 は、検索の結果に基づいて、制御パラメータが、メモリ 2 に登録されているか否かを判定し、登録されていると判定された場合、ステップ S 2 3 に進み、登録されている制御パラメータに応じて、映像信号処理装置 1 6 や映像表示部 1 7 における信号処理を制御するための今回の制御パラメータを設定する。例えば、ユーザが選択した番組のジャンルが映画であるとする、CPU 1 は、図 5 (A) に示す制御パラメータを設定する。

【 0 0 4 5 】

一方、CPU 1 は、ステップ S 2 2 において、受信中の番組のジャンルに対応する制御パラメータがメモリ 2 に登録されておらず、ユーザが選択した番組の表示処理を制御する制御パラメータを取得することができないと判定した場合、ステップ S 2 4 に進み、標準制御パラメータをメモリ 2 から取得し、今回の制御パラメータとして設定する。

【 0 0 4 6 】

本発明においては、ユーザが好みに合わせて入力インタフェース 3 を操作することにより、制御パラメータの設定を変更することも可能とされる。そこで、ステップ S 2 3 またはステップ S 2 4 の処理の後、ステップ S 2 5 に進み、CPU 1 は、ユーザが、制御パラメータ設定のために、番組のジャンルを指定したか否かを判定する。

【 0 0 4 7 】

ユーザが、放送側から送信されたデータに基づいて設定された制御パラメータに変更を加えて、番組のジャンルに対応させてメモリ 2 に予め登録しておいた制

御パラメータを用いて映像を表示させるべく、入力インタフェース3を操作し、番組のジャンルを指定した場合、ステップS25において、ジャンルが指定されたと判定される。このとき、ステップS26に進み、CPU1は、ユーザが、番組のジャンル毎に設定を変更して、メモリ2に予め登録しておいた制御パラメータを今回の制御パラメータとして設定する。

【0048】

ステップS27において、ステップS26の処理により設定された制御パラメータに対して、ユーザが入力インタフェース3を操作することにより、さらに変更が加えられたか否かが判定される。

【0049】

ユーザにより、制御パラメータの設定が変更されたと判定された場合、ステップS28に進み、CPU1は、変更された制御パラメータに応じて、映像信号処理装置16や映像表示部17における信号処理を制御し、映像を表示させる。

【0050】

さらに、ステップS29に進み、CPU1は、ユーザが入力インタフェース3を操作することにより設定を変更した制御パラメータを、そのジャンルの番組に対応する制御パラメータとしてメモリ2に登録する。

【0051】

これにより、その後、ユーザによって、同一の番組（シリーズの番組）や、同一のジャンルの番組が選択された場合にも、同一の制御パラメータに基づいて、映像信号処理装置16や映像表示部17における信号処理が制御され、映像が表示される。

【0052】

一方、ステップS25において、ユーザがジャンルを特に指定していないと判定された場合、すなわち、放送側で指定されたジャンルに基づく制御パラメータ、または標準制御パラメータに応じて表示制御を行う場合、ステップS30に進み、映像信号処理装置16や映像表示部17における信号処理が、今回設定された制御パラメータに応じて制御され、映像が表示される。

【0053】

ステップS27において、制御パラメータが変更されていないと判定された場合、即ち、放送側により設定された制御パラメータに、ユーザが自らジャンルごとに変更を加えて、登録しておいた制御パラメータに応じて、表示制御を行う場合も同様に、ステップS30に進み、映像信号処理装置16や映像表示部17における信号処理が、ユーザが登録しておいた制御パラメータに応じて制御され、映像が表示される。

【0054】

以上においては、制御パラメータは、番組のジャンルに対応させて登録させるようにしたが、その他に、番組のデータが配置されているトランスポートストリームを伝送しているチャンネルの名称、情報、番組の名称、放送日時、内容、現在の日付時刻などに対応させて、制御パラメータを登録することも可能である。

【0055】

以上において、ビデオ信号に関する制御について説明したが、本発明は、オーディオ信号の信号処理および出力制御についても適用可能である。例えば、音楽番組のデータについて信号処理する場合、ビデオ信号に関しては、上述した信号処理制御を行い、表示させるとともに、オーディオ信号について、デマルチプレクサ13により抽出されるパケットの音楽ジャンル（ロックミュージック、ポピュラーミュージック、クラシックミュージックなど）や演奏場所（スタジオ、ライブハウス、カラオケボックスなど）のデータに応じて信号を処理し、出力させるようにすることもできる。

【0056】

また、テレビジョン番組が放送される日付や時間帯に応じて制御パラメータを変更することもできる。例えば、深夜に放送される場合、昼に比べ、映像信号のコントラストを下げるができる。

【0057】

さらに、一の画面に複数のウインドウで複数の画像が同時に表示される場合、それぞれのウインドウに表示させている画像ごとに表示（出力）を制御するようにしてもよい。

【0058】

以上においては、本発明を、テレビジョン受像機に適用した場合について説明したが、本発明は、IRD (Integrated Receiver/Decoder)、その他、デジタルデータ処理するあらゆる装置（例えば、パーソナルコンピュータなど）に適用可能である。

【 0 0 5 9 】

上述した一連の処理は、ハードウェアにより実行させることもできるが、ソフトウェアにより実行させることもできる。一連の処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが、専用のハードウェアに組み込まれているコンピュータ、または、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能な、例えば、汎用のパーソナルコンピュータなどに、記録媒体からインストールされる。

【 0 0 6 0 】

この記録媒体は、図 1 に示すように、コンピュータとは別に、ユーザにプログラムを提供するために配布される、プログラムが記録されている磁気ディスク 2 2 (フロッピディスクを含む)、光ディスク 2 3 (CD-ROM (Compact Disk-Read Only Memory)、DVD (Digital Versatile Disk)を含む)、光磁気ディスク 2 4 (MD (Mini-Disk)を含む)、もしくは半導体メモリ 2 5 などよりなるパッケージメディアにより構成されるだけでなく、コンピュータに予め組み込まれた状態でユーザに提供される、プログラムが記録されているメモリ 2 などで構成される。

【 0 0 6 1 】

なお、本明細書において、記録媒体に記録されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に沿って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【 0 0 6 2 】

また、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【 0 0 6 3 】

【発明の効果】

本発明の画像処理装置および画像処理方法、並びに記録媒体によれば、ユーザが選択するプログラムに関連する関連情報に応じて、プログラムの画像の表示を制御する制御パラメータを設定するようにしたので、複雑な操作をすることなく、簡単に、最適な画質で番組を視聴することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明を適用したテレビジョン受像機の構成例を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 のデマルチプレクサの処理を説明するフローチャートである。

【図 3】

PSIを説明する図である。

【図 4】

図 1 のCPUの処理を説明するフローチャートである。

【図 5】

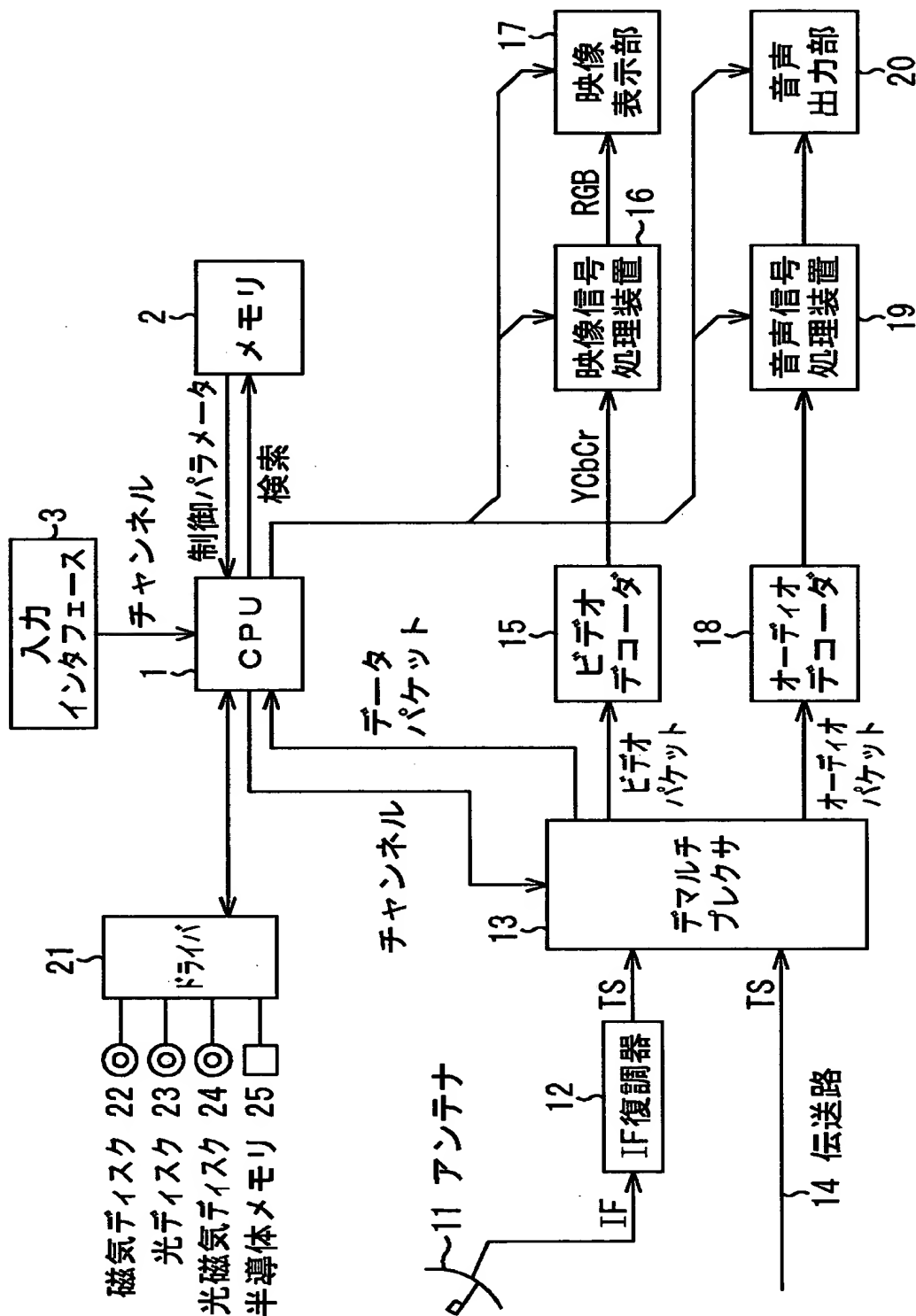
図 1 のメモリに登録されている対応表の例を示す図である。

【符号の説明】

1 CPU, 2 メモリ, 3 入力インタフェース, 11 アンテナ,
12 IF復調器, 13 デマルチプレクサ, 14 伝送路, 15 ビデオ
デコーダ, 16 映像信号処理装置, 17 映像出力部, 18 オーディオ
デコーダ, 19 音声信号処理装置, 20 音声出力部, 21 ドラ
イバ, 22 磁気ディスク, 23 光ディスク, 24 光磁気ディスク,
25 半導体メモリ, 30 テレビジョン受像機

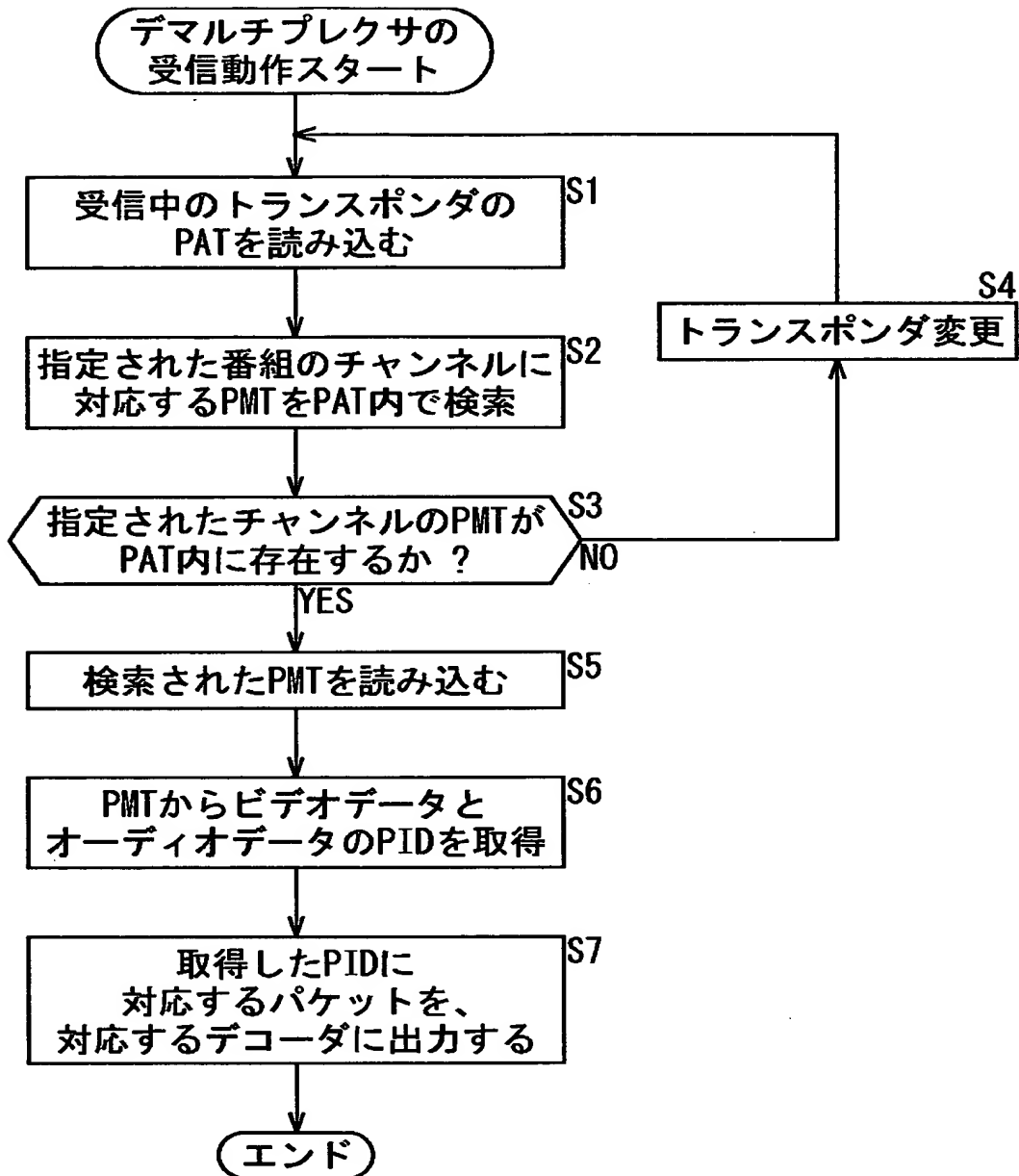
【書類名】 図面

【図 1】

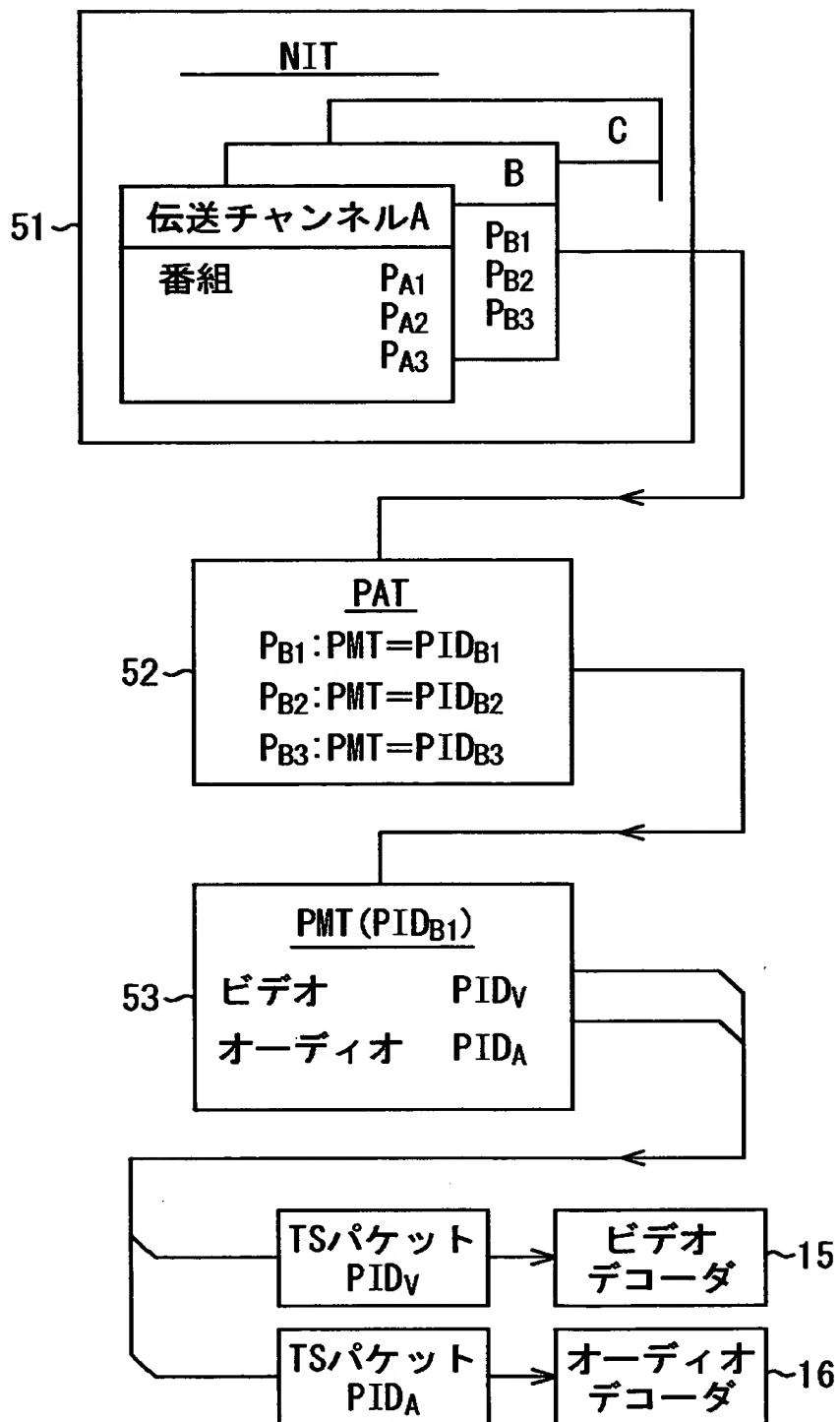


テレビジョン受像機 30

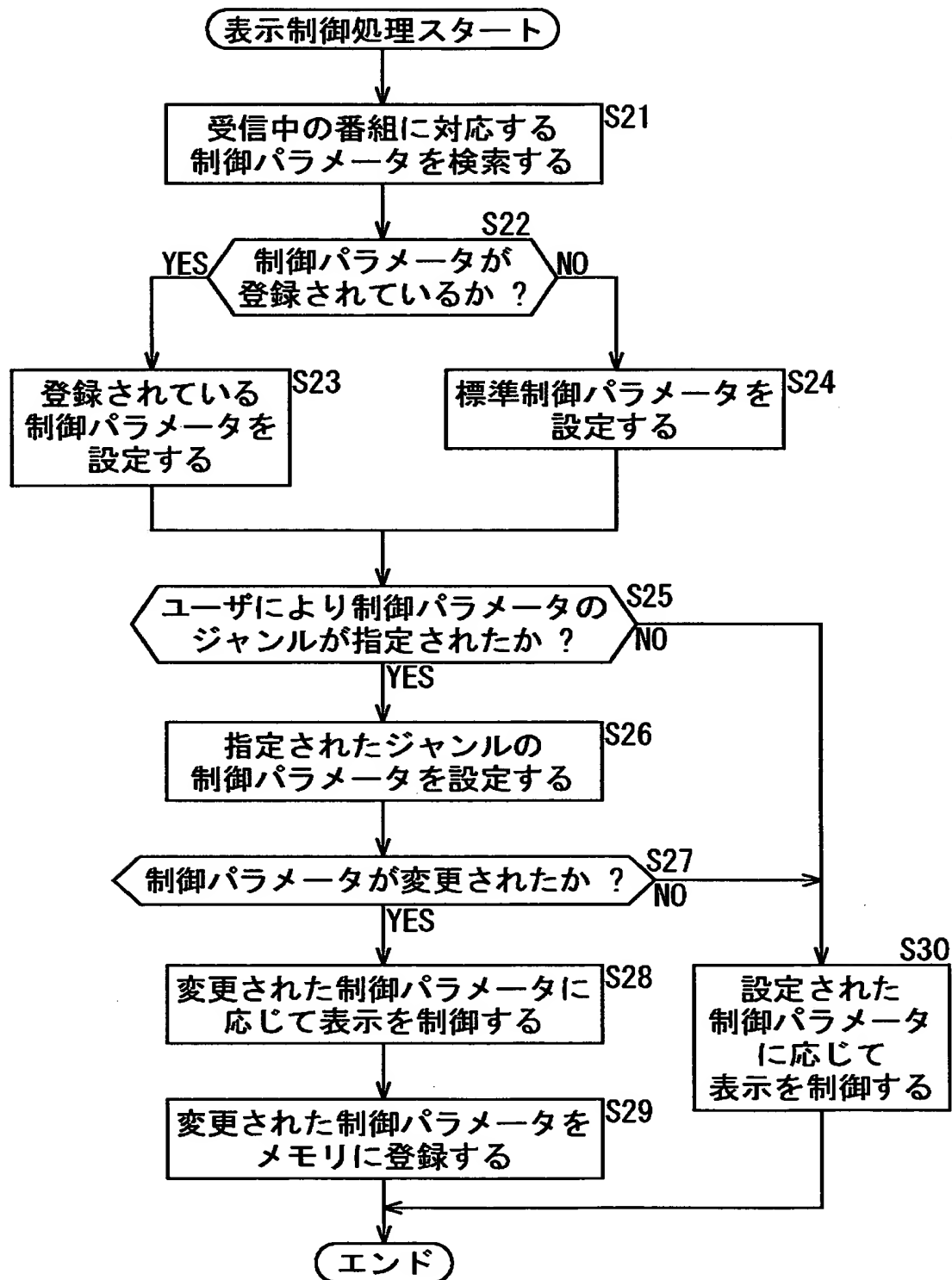
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

番組のジャンルと制御パラメータの対応表

(A) 認識された番組のジャンル：映画

ブライトネス	低くする
シャープネス	弱める
色温度	低くする
NR(Noise Reduction)	切る
VM(Velocity Moduration)	切る
ガンマ補正	強める

(B) 認識された番組のジャンル：スポーツ(サッカー)

コントラスト	弱める
シャープネス	強める
色温度	高くする
VM(Velocity Moduration)	強める
走査方式	順次走査

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 最適な画質でプログラムを視聴することができるようにする。

【解決手段】 メモリ 2 には、ジャンルと制御パラメータの対応表が記憶されている。CPU 1 は、デマルチプレクサ 1 3 が、ユーザの指令に基づいて選択した番組のジャンルに対応する制御パラメータをメモリから読み出し、その制御パラメータに基づいて、映像信号処理装置 1 6 および映像出力部 1 8 における信号処理を制御する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名	ソニー株式会社